

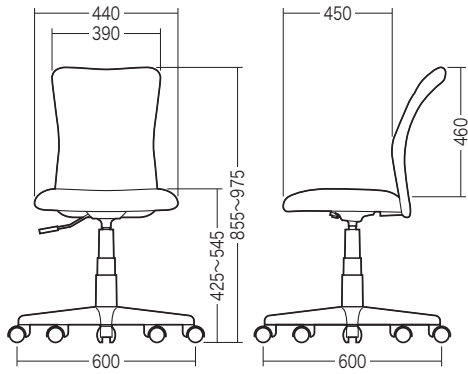
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。  
このチェアは組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。  
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も  
大切に保管してください。**

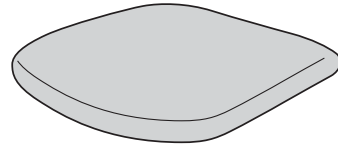
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの・・・  
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

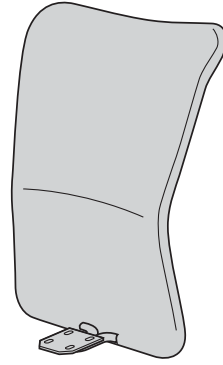
**完成図**



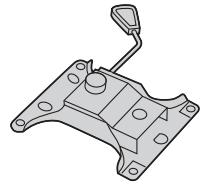
**組立て部品**



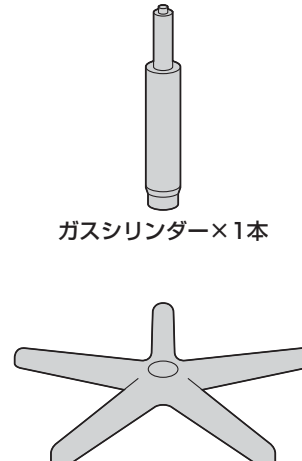
座面×1個



背もたれ×1個



座面ブラケット×1個



ガスシリンダー×1本

レッグフレーム×1個



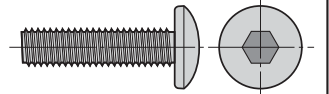
シリンダーカバー×1個

スペーサー×2枚

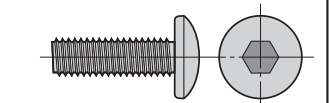
ワッシャー×8枚

キャスター×5個

**使用ボルト**



ボルトA×4本 (M6×25)

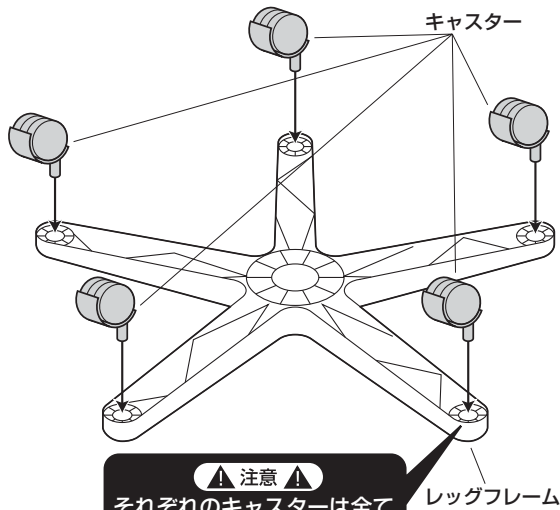


ボルトB×4本 (M6×20)



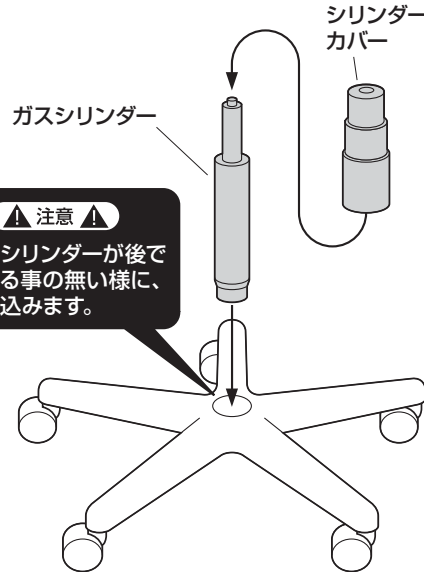
六角レンチ×1本

**1** レッグフレームをひっくり返し、  
キャスターを取付けます。



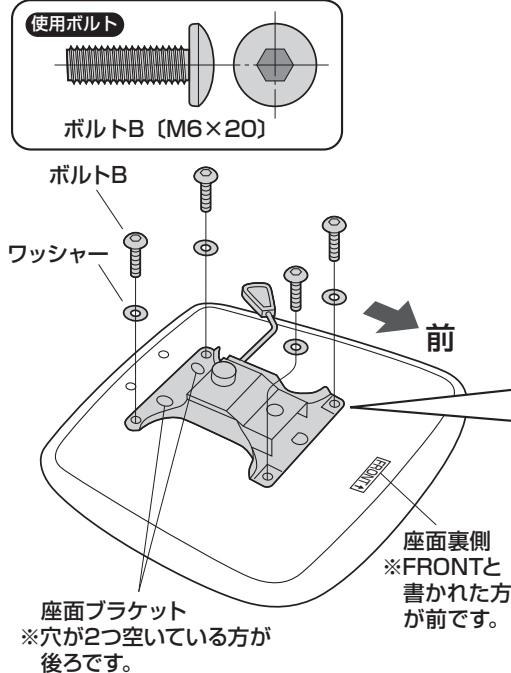
**注意**  
それぞれのキャスターは全て押し込み式です。(手ではめこむ)カチッと音がするまで、押し込みます。

**2** ガスシリンダーとシリンダーカバー  
をレッグフレームに取付けます。



**注意**  
ガスシリンダーが後で抜ける事の無い様に、押し込みます。

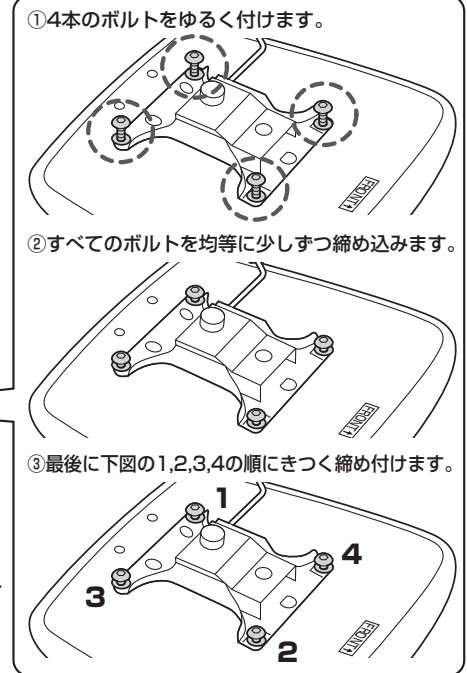
**3** 座面に座面ブラケットを取付けます。



**使用ボルト**  
ボルトB (M6×20)

ボルトB  
ワッシャー

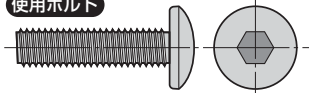
座面ブラケット  
※穴が2つ空いている方が後ろです。



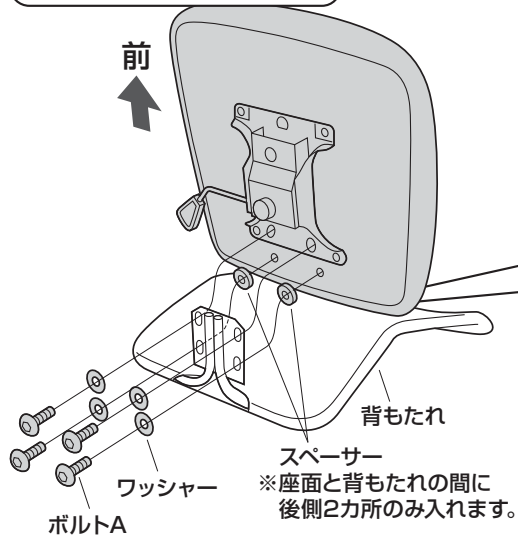
①4本のボルトをゆるく付けます。  
②すべてのボルトを均等に少しずつ締め込みます。  
③最後に下図の1,2,3,4の順にきつく締め付けます。

## 4 座面に座面ブラケットを取付けます。

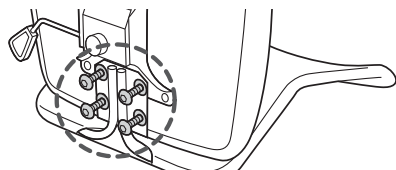
使用ボルト



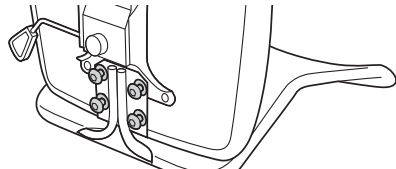
ボルトA (M6×25)



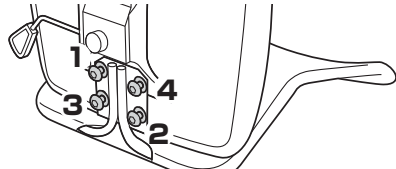
①4本のボルトをゆるく付けます。



②すべてのボルトを均等に少しずつ締め込みます。



③最後に下図の1,2,3,4の順にきつく締め付けます。



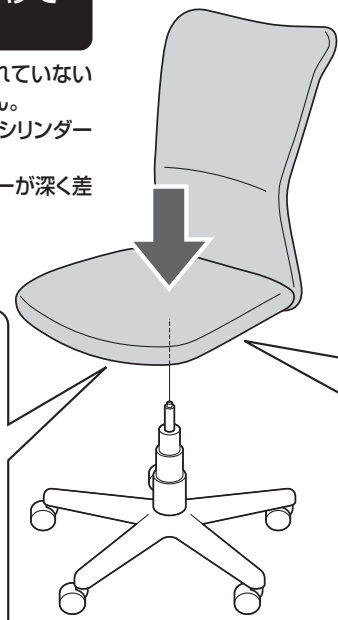
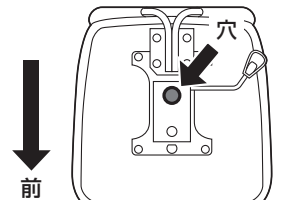
## 5 ガスシリンダーに座面ブラケットを差し込んで完成です。

座面に座り、体重をかけて押し込みます。

- ※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
- ※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
- ※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。

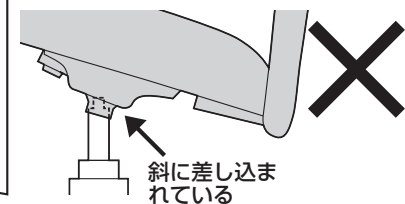
下から見た図

座面ブラケットの下図の穴に差し込みます。

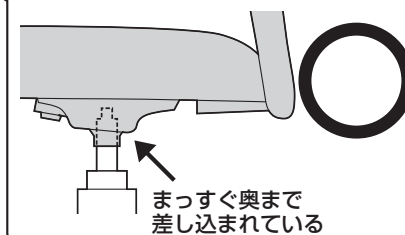


▲ 注意 ▲

座面ブラケットをガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。座面ブラケットが斜めに差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。



斜めに差し込まれている



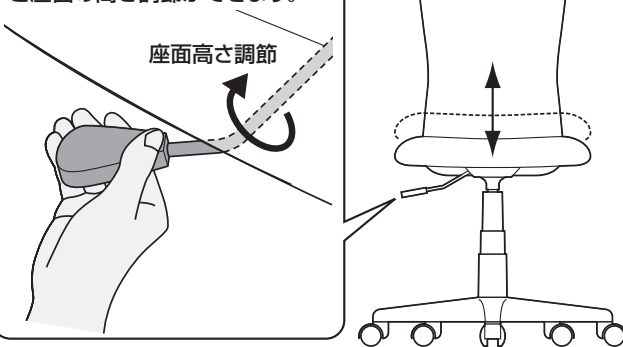
まっすぐ奥まで差し込まれている

## 座面の高さの調節方法

▲ 注意 ▲

レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面ブラケットを差し込み直してください。

レバーを矢印の方向へ回転させると座面の高さ調節ができます。



## チェアの品質表示

外形寸法：幅600×奥行600×高さ865～980mm (座面高さ425～540mm)  
構造部材：座部・背もたれ部/合板 脚部/ナイロン キャスター部/ナイロン  
張り材：ポリエステル クッション材：ウレタンフォーム

▲ 使用上の注意 ▲

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
- 滑りやすい床面で使用しないでください。
- 用途以外で使用しないでください。
- 2ヶ月を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
- ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
- 座面の上に登らないで下さい。転倒の原因になります。
- 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
- 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
- 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3～4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
- 同時に2人以上で腰掛けないでください。
- 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正品による修理が完了するまで使用しないでください。

※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。